

九州IoT実装推進ワーキンググループ 第六回会合 議事概要

■日 時 令和2年2月19日（金）13:00～16:35

■場 所 オンライン開催（Zoom）

■参加者 35団体、70名

=====《議事内容》=====

1. 地域におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況の紹介
-ローカル5G、スマートシティ分野を中心に-
2. 企業におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況の紹介
-スマートシティ分野を中心に-
3. 令和3年度予算 各省IoT関連施策説明
4. 各自治体からのIoT取り組み事例紹介

=====

1. 地域におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況の紹介

下記の紹介がなされた。

【ローカル5G分野】

(1) (株)NTTフィールドテクノ：

専門医の遠隔サポートによる離島等の基幹病院の医師の専門外来等の実現

(2) 富士通(株)：農業ロボットによる農作業の自動化の実現

【スマートシティ分野】

(3) 飯塚市：スマート・ウェルネス・シティサービス展開事業

(4) 荒尾市：荒尾ウェルビーイングスマートシティ事業

2. 企業におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況の紹介

下記の紹介がなされた。

(1) 日本電気(株)：NECのスマートシティの取り組み

(2) Gcomホールディングス(株)：

スマートシティ上でのデータ連携における自治体の役割

3. 令和3年度予算 各省IoT関連施策説明

下記の説明がなされた。（九州農政局は資料提供のみで説明なし）

＜説明・資料提供機関＞

総務省、九州経済産業局、九州農政局

4. 各自治体からのIoT取り組み事例紹介

下記の説明資料の提供がなされた。

＜紹介資料提供自治体＞

福岡県、大分県、熊本県、宮崎県、北九州市、福岡市、多久市

5. 質疑応答・意見交換

座長の進行により、以下のとおり、質疑応答・意見交換がなされた。

(1) 地域におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況の紹介 ＜離島病院への遠隔サポートの課題や今後の事業見通しについて＞

(ハイパーネットワーク社会研究所)

離島の医療に活用できると期待しているが、幾つか課題を挙げられ、その説明があったが、テクノロジー以外についての課題があれば教えてほしい。

((株) NTT フィールドテクノ)

医師側の機器取り扱いの慣れや準備負担、設備が現在は高価である事などがある。今後各所に展開していく場合においては、オンライン診療の診療報酬などの制度を含めて検討していく課題がある。なお、実証途中であるため、今後新たな課題が出てくる可能性もある。

(ハイパーネットワーク社会研究所)

貴社のビジネス見通しや事業戦略等はあるのか。

((株) NTT フィールドテクノ)

本事業では、コンソーシアムを組んでいる長崎県や長崎大学病院と、今後長崎県内で普及させていくための議論を進めている途中であり、それらを纏めて今後の展開などを示していきたい。

＜協力体設置の進め方やそのノウハウについて＞

(事務局)

他自治体でもスマートシティ化への取り組みが進んでいる中、事業を進める場合の協力体の設置が必要であるが、今回説明いただいた推進協議会以外の方法で、その作り方や人の集め方などのノウハウを教えてほしい。

(荒尾市)

自治体は人口減少・高齢化社会、災害、エネルギーなど色々と課題がある。荒尾市は、エネルギーの課題から取り組みを始めたが、それと同時期に国土交通省のスマートシティ事業の募集が重なり、本事業に手を挙げた。その検討を進めていく中で、新たな課題が生じた時に追加で関係する企業や大学を取り込んで、推進協議会を構成する団体が集まっていたものである。個別の企業や大学の強みと市の都市開発と組み合わせ、荒尾市の地域振興に大きく寄与できる協力体になっていると考えている。

(2) 企業におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況の紹介 ＜データの共有化の取り組みについて＞

(座長)

エビデンスベースな活動の重要性とデータを共有化することによる1つのデータ分野だけではなく、広がりのある解決になるとの認識できた。

(事務局)

自治体の取り組みに濃淡があると考えており、うまくいっている又は新しい取り組みが芽生えているなどの違いがある。自治体のリーダーシップやトップの意思が大きく影響すると思う。また、省庁からの支援などの影響もあるのではと考える。

(座長)

リーダーシップ、フォロワーシップなど組織力が重要であると考えている。制度・組織とそれを実施する体制が調和できるとうまくいくと考える。

6. 座長からの講評

<地域におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況について>

- 専門医の遠隔サポートによる離島等の基幹病院の医師の専門外来等の実現
先進的な取り組みであると思う。今後の展開などもWGにて情報共有してほしい。
- 農業ロボットによる農作業の自動化の実現
5G, ローカル5G, Wifi, LPWAなどを有効に使い、ロボットに活用した先進的な事例であった。
- スマート・ウェルネス・シティサービス展開事業
健康に関する意識改革や行動変容を促しつつ、最終的には医療費削減の効果を狙った施策として分かりやすかった。
- 荒尾ウェルビーイングスマートシティ事業
大きな事業で関連する方々が多い中で、具体的にエネルギーやモビリティ、ヘルスケアなどについての諸課題に検討・対応されており、興味深かった。

<企業におけるIoT実装推進に向けた様々な取り組み状況について>

- NECのスマートシティの取り組み
1つの課題を解決するためプラットフォームを作っただけでいきながら、他の分野の課題に活用するよう広がっていく取り組みであり、社会的課題の解決に寄与するものと思う。
- スマートシティ上でのデータ連携における自治体の役割
官民併せたデータの提供で、もっと社会的課題が解決できるのではないかと考える。理解でき、エビデンスベースは今後大変重要である。最後は分析をアクションに繋げていくことも皆さんと知恵を出していく必要があるのではないかと考える。

<各省庁施策説明、各自治体の取り組みについて>

総務省、経済産業省をはじめ、各省庁や自治体ともに未来への投資として、色々な予算や多様な施策・取り組みを検討していただいていると感じている。

<全体的な講評・挨拶>

地域の課題を解決することに対し、皆さんがよく取り組んでいることを改めて認識した。今回このWGで、貴重な話をしていただいたことに感謝する。なお本日は、情報量が多く時間もなく、オンラインで直接的にお会い出来ず、議論が少なかった。

次は皆さんとお会い出来る機会を作れると幸いであり、今後も有意義なWGに出来ればと考える。

以上